

スタジオリライト キルンワーク制法シリーズ

スタジオリライトでは、代表的なキルンワークのテクスチャーを制法別にシリーズ化しております。各シリーズは諸条件により、さらに様々な表現が可能です。キルンワークとは、型にカレット原料を敷きつめて窯の中で焼き上げるで、主に板状のものを制作する際に採用されます。最大3000×1000mmまで焼成できる窯を所有し制作を行っています。

表記▶FL…廃蛍光灯リサイクルガラス CRT…ブラウン管(パネル)リサイクルガラス NX…低圧ナトリウム灯リサイクルガラス

プレーン

自然光がきれいに集まる和紙のような柔らかな表情

1. FL 450×450×50mm / ボトム面を上にしたスツール天板
2. NX 60mm厚 / NXガラスは焼成するとブルーに発色する
3. CRT-c 70mm厚 / 光沢面からは中の気泡がたくさん見える

ビルド

敷きつめたガラスの輪郭で魅せる石造りのようなパターン

1. FL / ベンチ装飾ガラス部材
2. 1のガラス部ディテール
3. CRT-c+t 2250×950mm / テーブル天板 明所平置きにて撮影
4. FL 360mm×82mm厚 / ランドスケープオブジェ部材

セル

敷きつめたガラスの輪郭で魅せる細胞壁のようなパターン

1. FL 1660×840×25mm / 個人邸パーティション
2. NX 400×150×30mm / 暗所で小口より照射
3. CRT-c 400×150×30mm / 明所で平置き 背面より照射

アイシー

泡の濃淡で表現する流水のようなパターン

1. FL 1950×600×30mm / カウンターテーブル天板
2. 3. FL 200×200×20mm / 模様をピッチを変えて比較焼成
4. FL 250×200×20mm / 背面に文字をサンドブラストで彫込み
2.3.4. 全て暗所で小口より照射

バンピー

半解けのデコボコを残した焼成 細かな温度管理により様々な魅せ方が可能

1. CRT-th 1380×880mm / バーカウンター腰装飾ガラス
2. NX-h 1300×750mm / 壁面装飾
3. FL-s 1380×880mm / テーブル天板
4. 左から FL-h, NX-h, CRT-cs, CRT-ts 150×100mm / 色、溶け具合の比較

カラー

FLをベースにカラーガラスと組み合わせて焼成

1. Chaboku 710×430×60mm 水にインクを落としたような表情
2. White 宙に舞う羽のような表情 明所黒背景にて撮影

▲シャーズ 30mm厚色の欠片をFLガラスで閉じ込めて焼成

フレア

淡く重なる模様が立体感と柔らかな印象を思わせる

1. FL 880×890×25mm×3枚 / カウンター腰装飾ガラス
2. FL 270×320×20mm / 意匠ガラス
3. NX 400×150×30mm / 暗所で小口より照射

プラスター

石膏型により自由なテクスチャーを制作できるため表現の幅が広がる技法

1. FL 2000×1000mm, 2000×800mm / テーブル天板 川のイメージ
2. CRT-c 510×520mm, 3. FL 1250×350mm / 共に氷山のイメージ

ドロップ

煮詰めた餡のような艶やかな表情が特徴

4. CRT-t, CRT-c 100×150mm / 石膏型にランダムにつけたテクスチャー
5. FL 1250×250mm / ギャラリー展示品 水面のイメージ
6. CRT-c 2400×1000mm / テーブル天板

ペタル

重なり合った立体的な模様が花びらを思わせる

1. FL 153×208×100mm / 店舗サイン装飾ガラス 上部より照射
2. 1のガラスの全体像 明所黒背景にて撮影
3. CRT-c 405×405mm / スツール天板ディテール 明所にて撮影

ドロップ

煮詰めた餡のような艶やかな表情が特徴

1. NX 400×150×30mm / テクスチャー内部 泡のディテール
2. FL 150×150×60mm / 明所にて立てて撮影
3. CRT-c 400×150×30mm / 明所地面にて平置き撮影